

丹原・小松地域小中学校の学級規模の推移

1. 丹原地域（丹原東中学校区・丹原西中学校区）

① 丹原東中学校区（中学校）		【R17に基本方針④- 2 中学校のアを満たすが、R32では適正の範疇外となる】						
設置校		R6	R7	R12	R17	R22	R27	R32
丹原東中学校	生徒数	206	203	168	133	109	89	73
	クラス規模	6学級	2学級34人	2学級28人	2学級22人	単学級36人	単学級30人	単学級24人

①-1 丹原東中学校区（中学校区内の小学校）		【丹原小を除き、R17に基本方針④- 1 小学校のアを満たさず、丹原小もR32では適正の範疇外となる】						
設置校		R6	R7	R12	R17	R22	R27	R32
丹原小学校	児童数	238	232	188	156	132	110	94
	クラス規模	9学級	2学級19人	単学級31人	単学級26人	単学級22人	単学級18人	単学級16人
徳田小学校	児童数	37	35	25	18	13	12	11
	クラス規模	複式学級	複式学級6人	複式学級4人	複式学級3人	複式学級2人	複式学級2人	複式学級2人
田野小学校	児童数	72	70	57	46	35	27	23
	クラス規模	6学級	単学級12人	複式学級10人	複式学級8人	複式学級6人	複式学級5人	複式学級4人
田滝小学校	児童数	11	10	8	4	1	1	1
	クラス規模	複式学級	複式学級2人	複式学級1人	複式学級1人	1人校	1人校	1人校

② 丹原西中学校区（中学校）		【R17に基本方針④- 2 中学校のアを満たさない】						
設置校		R6	R7	R12	R17	R22	R27	R32
丹原西中学校	生徒数	42	40	31	20	14	10	8
	クラス規模	3学級	単学級13人	単学級10人	単学級7人	複式学級5人	複式学級3人	複式学級3人

②-1 丹原西中学校区（中学校区内の小学校）		【R17に基本方針④-1小学校のアを満たさない】						
設置校		R6	R7	R12	R17	R22	R27	R32
中川小学校	児童数	77	73	51	34	24	19	15
	クラス規模	6学級	単学級12人	複式学級9人	複式学級6人	複式学級4人	複式学級3人	複式学級3人

③ 【中学校の統合による推移】		【2校統合により、R17に基本方針④- 2 中学校のアを満たすが、R32では適正の範疇外となる】						
統合対象校		R6	R7	R12	R17	R22	R27	R32
丹原東中学校	生徒数	206	203	168	133	109	89	73
	クラス規模	6学級	2学級34人	2学級28人	2学級22人	単学級36人	単学級30人	単学級24人
丹原西中学校	生徒数	42	40	31	20	14	10	8
	クラス規模	3学級	単学級13人	単学級10人	単学級7人	複式学級5人	複式学級3人	複式学級3人
合計生徒数	生徒数	248	243	199	153	123	99	81
	クラス規模	-	3学級27人	2学級33人	2学級26人	2学級21人	単学級33人	単学級27人

④ 【小学校の統合による推移】		【5校統合により、R17年に基本方針④- 1 小学校のウを満たし、R32年で概ね適正の範疇まで維持できる】						
統合対象校		R6	R7	R12	R17	R22	R27	R32
丹原小学校	児童数	238	232	188	156	132	110	94
	クラス規模	9学級	2学級19人	単学級31人	単学級26人	単学級22人	単学級18人	単学級16人
徳田小学校	児童数	37	35	25	18	13	12	11
	クラス規模	複式学級	複式学級6人	複式学級4人	複式学級3人	複式学級2人	複式学級2人	複式学級2人
田野小学校	児童数	72	70	57	46	35	27	23
	クラス規模	6学級	単学級12人	複式学級10人	複式学級8人	複式学級6人	複式学級5人	複式学級4人
田滝小学校	児童数	11	10	8	4	1	1	1
	クラス規模	複式学級	複式学級2人	複式学級1人	複式学級1人	1人校	1人校	1人校
中川小学校	児童数	77	73	51	34	24	19	15
	クラス規模	6学級	単学級12人	複式学級9人	複式学級6人	複式学級4人	複式学級3人	複式学級3人
合計児童数	児童数	435	420	329	258	205	169	144
	クラス規模	-	2学級35人	2学級27人	2学級22人	単学級34人	単学級28人	単学級24人

※ R 6 のクラス規模については、通常学級を記載

※ 児童生徒数推計方法：5 年ごとの増減率から単年度ごとの増減率を算出し、令和6年度の確定人数（R6.5.1現在の児童生徒数）から単年度の増減率を乗じて算出（推計方法については国立社会保障・人口問題研究所に準拠）

※ 本表では通常学級数を示し、小学校では全校児童数が60人以下の場合、中学校では全校生徒数が15人以下の場合は複式学級としている